



服部しほり展 —帰れない夏休み—

本館6階 美術画廊【日本画】

京都市立芸術大学大学院を修了し、生命ともいえる「線」を大切に扱いながら生み出される、ユーモアに富む奇想天外な画風で、2020年に京都市芸術新人賞、翌年には京都府文化賞奨励賞を受賞されるなど、高い評価を得る。本展では、まぶしい光、ぬるい夜、ふと迷い込んだ知らない場所、終わらないと思えた夏の日々など、さまざまな夏休みの面影を日本画に描きとめた作品とあわせて、禅画題《十牛図》より、迷いながら悟りを求める心の旅を辿る作品を一堂に展観。

7.29 WED~8.3 MON

「帰れない夏休み」
H54.6×W22cm
紙本着色

山中辰次 青瓷展 —奈良の自然を写す—

本館6階 美術画廊【陶芸】

1952年奈良県生まれ。最古の古道の一つである山の辺の道の一 corner に窯を築き、奈良の自然をモチーフとした青瓷と青白瓷の作品に長年取り組む。山中氏の独自技法である「青瓷白暈(ぼかし)」は、空の色を写し取ったかのような気品ある釉色で、青と白のグラデーションが美しく、多くの人を魅了している。本展では「青瓷白暈し」の作品を中心に新作を一堂に展観。

7.29 WED~8.3 MON

「青瓷白暈し花器」
H17.5×Φ28.3cm

坂部 隆芳 個展 神の国 大倭日高見国と秦氏

本館6階 美術画廊【洋画】

坂部氏は1953年静岡県に生まれ、1974年日本大学芸術学部デザイン科を卒業後渡仏、パリ国立美術学校にて研鑽を積む。

これまでパリ、ブリュッセル、イスタンブール、バイルートと海外を拠点に制作活動が続けていた坂部氏は、つねに遠くから故郷に想いを馳せ、見つめてきた。

生まれ育った日本がどのように生まれ現在に至ったのかを探究した結果が今展のテーマである。

【舞踏パフォーマンス】
8月8日(土)午後3時より

8.5 WED~8.10 MON

「マチルドゥ」
H35×W35cm
油彩

「版画工房からの視点」 エディション・ワークスの仕事と現在

本館6階 美術画廊X【版画】

今日の現代アートにおける版画の位置づけは、単なる「複製技法の一ジャンル」を超えて、芸術の本質(オリジナル・作者性・再現)を問い直すメディアとして非常に重要な役割を担っている。本展では、1984年に設立されたエディション・ワークスがこれまで手掛けてきたアーティストの作品を通して、複製技術から出発しながらコンセプトや社会的意味を扱いデジタルも含めて拡張された現代の版画表現を一堂に展観。

【出品作家】(50音順・敬称略)
青木野枝・安齋肇・池内晶子・金田実生・
津上みゆき・手塚愛子・富井大裕・
東恩納裕一・村田峰紀・山口藍

8.5 WED~8.24 MON

東恩納裕一
「FL Mirror」
イメージサイズ：H39×W45cm
シートサイズ：H49×W57cm
デジタルプリント、コラージュ

本館6階 美術工芸サロン【金工】

市岡 真治 展 —鍛金の妙—

1976年広島県生まれ、2002年多摩美術大学大学院修了。神奈川県小田原市にて制作。高度な鍛金技術により生み出される市岡氏の作品は、凛とした雰囲気と生活になじむ静謐な佇まいが魅力。今展では、薬罐や匙、茶器、花器などの新作30余点を発表。

7.29 WED~8.3 MON

「緑青物小壺」
H4.6×Φ6.7cm

本館6階 美術画廊【陶芸】

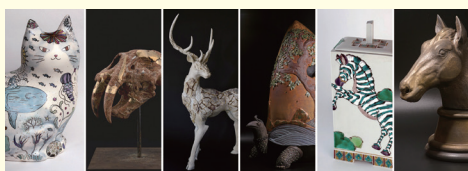
日本陶芸美術協会選抜展 ～Animal Lovers～

脈々と受け継がれてきた伝統を重んじつつ、現代の自由なクリエイションを追求する「日本陶芸美術協会」。

今展では「動物」をモチーフ・テーマに制作する6名の作家によるアートな動物たちを一堂に展観。

【出品作家】(50音順・敬称略)
小山恵美・坂倉善右衛門・中原幸治・西村芳弘・
宮本果林・山近泰

8.5 WED~8.10 MON



本館6階 美術工芸サロン【彫刻】

第18回 日本彫刻会 新鋭選抜・受賞作家展

日本彫刻会に所属する優れた才能を有する若手作家の育成と研鑽の成果を広く発信することを目的として開催。具象から幻想的表現まで、多様な感性によって生み出された彫刻作品を通じて、現代彫刻の豊かな可能性と造形美を展観。

【出品作家】(50音順・敬称略) 秋田美鈴・芦田風馬・
浮森夕菜・奥平陽和・加藤真浩・高野浩子・佐藤励・
柴田茜・鈴木紹陶武・高野真吾・田上万豊・竹内晋平・
武本大志・田原追華・田畑智功・田村さつき・
細川大潤・本多史弥・山田雅英

※8月5日(水)～10日(月)、8月12日(水)～17日(月)

本館6階 美術彫刻コーナー
でも開催

8.12 WED~8.17 MON

田上万豊
「邪ッ鬼」
H25×W20×D10cm
レジン、寸切ボルト、
ラッカー塗料、アクリル絵具

第20回 個の地平

本館6階 美術画廊【洋画】

国画会の中心メンバーであり現代洋画壇を牽引される先生方により2007年より開催してきた今展は、このたび最終回を迎える。
著しく変化し多様化していく時代の中で、〈アーティストは個の地平を持ち、みずからそれを切りひらき、確かな個を輝かせなければならない〉という志を掲げ、メンバー13名それぞれの〈個〉を展観。

【出品作家】(50音順・敬称略)
安達博文・稲垣考二・梅澤希人・大沼映夫・大沼蘭・小川浩司・五島綾子・佐々木豊・田代甚一郎・田中いっこう・津地威汎・前田昌彦・増地保男
【ギャラリートーク】8月15日(土)午後3時より



大沼映夫
「横顔のある白い静物」
F50号

8.12 WED ~ 8.17 MON

椎名 勇 展

本館6階 美術画廊【陶芸】

1968年神奈川県生まれ。1999年栃木県那須町に築窯。
現在、東京藝術大学教授。
焼成で得られる色彩や質感に惹かれ制作を続ける椎名氏の作品は、泥彩や刻線、灰釉、金銀彩など複数の技法を用いた、自然体な造形で現代的なデザインが特徴。本展では大作から小品まで珠玉の作品を展観する。



「灰釉線刻文器」
H33×W37.5×D36cm
陶器

8.20 THU ~ 8.24 MON

本館6階 美術工芸サロン【漆芸】

藤原 愛 展 はなむれ

1992年石川県金沢市出身。
自然の風景や四季折々の空気感を、作品の形や模様にとりわけ花をモチーフとして意識し、蒔絵や螺鈿を施した美しい蓋物や酒器、お椀やアクセサリーを発表。

8.20 THU ~ 8.24 MON



「花護」
H5.9×Φ7.8cm

本館6階 美術工芸サロン【陶芸】

藤井 隆之 展

卓越した構成力で描かれた動植物と色彩が魅力の吹染、切れ味鋭い彫りと釉薬の濃淡で格調高い品格が感じられる青白磁、優美であたたかみのある発色と彫りが見事に調和した黄磁と、多彩な表現で多くの陶芸ファンを魅了。独創性溢れる世界観を醸し出している。

8.26 WED ~ 8.31 MON



「透加彩紫陽花図茶碗」
H8.4×Φ11.2cm

第2回 日本画 そらみつ

本館6階 美術画廊【日本画】

「そらみつ(蘇良美都・古事記)」、(虚空見つ・日本書紀)」、(虚見津・万葉集)」は、いずれも「やまと(大和)」に続く枕詞。10名の気鋭作家が「大和(日本)」=「日本画」と捉え、日本独自の絵画として発展してきた伝統を重んじながらも、新たな日本画を探索し、互いを高め合い制作することを目的とするグループ展。今展は「命とともに」をテーマに、賛助出品される竹内浩一氏から、絵画表現における生きとし生けるものの尊さを学んだ作品を発表。

【出品作家】(50音順・敬称略) 久米伴香・佐藤和歌子・中村妃菜・能島浜江・福岡正臣・藤島大千・峯石まどか・森下恭介・諸星美喜・山口暁子

【賛助出品】竹内浩一

【ギャラリートーク】8月22日(土)午後3時より

8.20 THU ~ 8.24 MON

諸星美喜
「ひか」
H33.4×W24.3cm
紙本着色



第37回 明日の白日会

本館6階 美術画廊【洋画】

本展は、毎年3月に国立新美術館にて開催される白日会展の出品者の中から選ばれた絵画・彫刻の若い世代の作家が、さらに互いを高め合う場として今日まで続いている。
見えるものを通して、見えないものを描くといった白日会の理念に真摯に向き合い、日々の研鑽の成果を込めた意欲作を展観。

【ギャラリートーク】

8月26日(水)午後3時より／8月29日(土)午後3時より

8.26 WED ~ 8.31 MON

本館2階 アートアベニュー【洋画】

増田 寿志 展
～光と刻の狭間～

1972年北海道生まれ。北海道やアラスカなど北方圏の自然を愛し、そこに住む動物や風景を題材に鉛筆やペン、アクリル絵具を用いて絵画作成を行う。その作品は息を呑むほど繊細で美しく、見るものを虜にする。日本橋高島屋初披露。

7.1 WED ~ 8.24 MON



「タイリクオオカミ」
F4号(H33.4×W24.2cm)
ミクストメディア、パネル

		8月																																	
		1 土	2 日	3 月	4 火	5 水	6 木	7 金	8 土	9 日	10 月	11 火	12 水	13 木	14 金	15 土	16 日	17 月	18 火	19 水	20 木	21 金	22 土	23 日	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 土	30 日	31 月			
本館6階	美術画廊	服部 しほり 展				準備会場	坂部 隆芳 展					準備会場	個の地平						休業日	日本画 そらみつ					準備会場	明日の白日会									
		山中 辰次 展					日本陶芸美術協会選抜展													椎名 勇 展															
	美術画廊X	志鎌 猛 展				準備会場	「版画工房からの視点」																「版画工房からの視点」					準備会場	益村 千鶴 展 ※9月14日(月)まで						
	美術工芸サロン	市岡 真治 展				準備会場	工芸の粋 -KOGEI selection					準備会場	日本彫刻会 新鋭選抜・受賞作家展							準備会場	藤原 愛 展					準備会場	藤井 隆之 展								
2本館階	アート アベニュー	増田 寿志 展																			増田 寿志 展					準備会場	常設展 ※10月19日(月)まで								

日本橋高島屋S.C.は、8月19日(水)は休業とさせていただきます。
※東館ポケモンセンタートウキョーDX&ポケモンカフェのみ営業いたします。 ※お車でご来店の際は、東館または提携駐車場をご利用ください。

誠に勝手ながら都合により催内容、会期など一部変更または中止となる場合がございます。営業日・営業時間、催内容、会期の最新の情報は高島屋ホームページをご覧ください。



高島屋各店美術画廊・展覧会のご案内はホームページでもご覧いただけます。

高島屋 美術

検索

